

町立奥出雲病院 新改革プラン 点検・評価
(平成 28 年度)

1. 事業報告

(1) 外来・入院患者数の動向

外来患者数は1日平均156.3人、年間延患者数37,973人で前年度比較2,061人の減少(対前年度比94.9%)、入院患者数は1日平均110.0人(病床利用率69.6%)、年間延患者数40,159人で前年度比較2,793人の減少(同93.5%)となりました。

外来患者数は直近10年間で2番目に少なく、入院患者数は、現病床数(158床)になってから最も少ない数値ではありましたが、外科においては医師1名増もあり、外来493人の増、入院1,195人の増となるなど診療科によって増減のバラつきがみられました。

(2) 収益的収支

本年度の総事業収益は1,991,139千円で前年度比較38,432千円の減収(対前年度比98.1%)、収益構成は、医業収益が1,562,258千円(同98.8%)、医業外収益が428,882千円(同95.5%)です。医業収益の減少は一般及び介護入院患者数の減少に伴う減(△21,893千円)が主たる要因と考えられます。一般外来においては患者数は減少しましたが、外科を始めとして多くの診療科で診療単価が増となったことにより、外来収益は5,669千円の増収となるなど増収要素もありました。一般会計繰出金総額は469,189千円で、前年度比較19,901千円の減額となりました。過疎ソフト事業にかかる部分の減などによるものです。

一方、総事業費用は1,930,345千円で、前年度比較45,518千円減少(対前年度97.7%)しました。内訳は医業費用が1,827,685千円(同97.7%)、医業外費用が102,660千円(同97.3%)です。医業費用の主なものは、給与費が1,157,647千円、材料費が222,365千円、経費が253,641千円、減価償却費が187,311千円でした。

以上より、営業(医業)損失は265,427千円、経常利益及び純利益は60,794千円となりました。

(3) 資本的収支

資本的収入は、政府企業債などの起債による借入77,200千円と建設改良に対する県補助金5,432千円で合計82,632千円でした。資本的支出は、建設改良費83,070千円と企業債等償還元金288,051千円で合計371,121千円を支出しました。資本的収入額が支出額に不足する額288,489千円は、損益勘定留保資金で補填しました。

(4) 今年度の新たな取り組みについて

安定的な給食調理員の確保のため、給食調理業務の外部委託を行いました

(5) 今後の課題について

①医師の確保

全国的に問題となっている中山間地域やへき地などにおける医師不足の状況が続く中、当院においても平成29年度は常勤医師が平成22年度以来の5名体制となり、外来や入院患者の診療はもとより、救急告示病院でもある当院にとっては、医師に多大な負担をかけている厳しい状況となります。更に、常勤医師の年齢なども考慮すると、医師の確保は喫緊の最重要課題

であり、引続き島根大学や島根県に対しての要望や地域枠推薦者との関係強化、人材確保・育成として研修医・医学生を受入、小学生・中学生・高校生の職場体験などを積極的に取り組みます。

②病床数の変更

病床数については、近年の入院患者数や医師の診療体制などを踏まえ、平成29年4月より158床から140床に変更することとしました。今後も入院患者の推移を注視し、良質な医療が提供できる体制を第一に考え、引き続き病床数などについて検討します。

③環境の変化への対応

現在、国が進めている「地域医療構想」に基づく改革や「地域包括ケアシステム」の仕組みづくりが全国的に推し進められています。特に、目の前に迫った第7次医療計画及び第7期介護保険事業（支援）計画や診療報酬と介護報酬の同時改定への対応など、医療や介護をとりまく環境は大きな転換期を迎えています。当院も自治体病院として、また、中核病院として町の地域医療を支える重要な役割を担う立場であり、関係機関と連携して「安心して暮らせる地域づくり」に貢献できるよう努めます。

2. 数値目標

(1) 医療機能・品質等指標に係る数値目標

項目	年度	27年度 実績	28年度			摘要
			見込 ①	実績 ②	差 ②-①	
研修医受入件数		4 件	3 件	2 件	△ 1 件	
在宅復帰率（包括）		76.0 %	84.6 %	77.9 %	△ 6.7 %	
平均在院日数		18.0 日	18.0 日	18.0 日	0 日	
分娩件数		80 件	82 件	80 件	△ 2 件	
褥瘡発生率		1.2 %	1.1 %	0.7 %	△ 0.4 %	
転倒・転落発生率		3.4 ‰	3.3 ‰	3.9 ‰	0.6 ‰	
医療相談（MSW）		2,865 件	2,600 件	3,129 件	529 件	
定期カンファレンス（リハ関係）		36 回	36 回	36 回	0 回	

(2) 経営指標に係る数値目標

項目	年度	27年度 実績	28年度			摘要
			見込 ①	実績 ②	差 ②-①	
① 収支改善に係るもの						
経常収支比率		102.7 %	104.1 %	103.1 %	△ 1.0 %	
医業収支比率		84.5 %	86.8 %	85.5 %	△ 1.3 %	
医業未収金		3,096 千円	3,300 千円	3,237 千円	△ 63 千円	
② 経費削減に係るもの						
給与費対医業収益比率		77.3 %	73.7 %	74.1 %	0.4 %	
材料費対医業収益比率（薬品含む）		14.9 %	14.4 %	14.2 %	△ 0.2 %	
委託費対医業収益比率		4.9 %	7.1 %	7.5 %	0.4 %	
後発品使用割合		- %	68.0 %	68.2 %	0.2 %	
薬品在庫の適正化		5,012 千円	5,000 千円	5,067 千円	67 千円	
検査試薬等納入価		-	-	-	-	H29よりH27実績の3%減を目標
③ 収入確保に係るもの						
入院患者数		42,952 人	42,743 人	40,159 人	△ 2,584 人	
入院患者数（1日あたり）		117.4 人	117.1 人	110.0 人	△ 7.1 人	
病床利用率		74.3 %	74.1 %	69.6 %	△ 4.5 %	
外来患者数		40,034 人	40,099 人	37,937 人	△ 2,162 人	
外来患者数（1日あたり）		164.7 人	165.0 人	156.3 人	△ 8.7 人	
薬剤管理指導件数		268 件	32 件	32 件	0 件	
外来心電図件数		894 件	900 件	993 件	93 件	
エコー件数		332 件	334 件	257 件	△ 77 件	
入院リハ処方数		-	30 件/月	34 件/月	4 件/月	
訪問リハ単位数		-	172 /月	196 /月	24 /月	
栄養指導件数		655 件	720 件	535 件	△ 185 件	
ドック・健診件数			2,375 件	2,336 件	△ 39 件	
④ 経営の安定性に係るもの						
常勤医師数		6 人	6 人	6 人	0 人	
企業債残高		3,268 百万	3,063 百万	3,057 百万	△ 6 百万	

3. 目標達成に向けた具体的な取り組みの実施状況

項目	取組・目標	実施状況の点検結果	評価所見	
1. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ①入院及び外来医療の提供 ②在宅系サービスの提供（訪問リハビリ・訪問診療） ③ドック・健診等の提供 ④医療・介護・福祉の連携支援（中心的役割） ⑤医療情報・医療技術等の教育活動 	①～⑤実施できている	概ね目標通りに実施されている。	
2. 経営の効率化	(1) 収支改善に係るもの	①未収金対策	目標3,300千円に対し3,237千円	目標達成。
	(2) 経費削減に係るもの	<ul style="list-style-type: none"> ①材料費節減 ②薬剤費（在庫）の削減 ③委託料見直し ④光熱費の節減 ⑤消耗品費等の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ①診療材料検討委員会を中心に継続的に行っている。 ②前年並みとなった。 ③委託料及び委託業務の見直しを継続的に行った。 ④灯油の毎月見積入札等経費節減対策に努めた。 ⑤破損・修理・購入等稟議厳格化による経費節減意識の定着を継続的に行った。 	概ね目標通りに実施されている。
	(3) 収支確保に係るもの	<ul style="list-style-type: none"> ①10:1看護基準の堅持と新たな施設基準の取得 ②指導及び検査件数の増加 ③高次病院及び診療所（開業医）等との紹介・逆紹介の推進 ④ドック・健診実施件数の維持等 	<ul style="list-style-type: none"> ①10:1を堅持した。感染防止対策加算2を検討中。 ②栄養指導は管理栄養士1名が育休のため減となったが、その他例年並み維持できた。 ③紹介逆紹介等について他院との連携をすすめた。ドクターヘリの活用を行った。 ④例年並みの件数を維持できた。 	概ね目標通りに実施されている。
	(4) 経営の安定性に係るもの	<ul style="list-style-type: none"> ①経営会議の定例開催実施 ②管理運営会議での活発な意見交換 ③職員の適正配置等 ④栄養科の業務委託 ⑤中・高校生の職場体験受入れ ⑥奨学金貸与制度を活用した免許職の確保 ⑦病院祭等による地域確保（病院理解） ⑧外来待ち時間調査 ⑨患者満足度調査 ⑩その他 <ul style="list-style-type: none"> ・各種会議・委員会の設置 ・院内研修会・講習会の実施 ・院外研修会等への積極的参加 ・学会等での発表 	<ul style="list-style-type: none"> ①定期的に開催し、経営について議論した。 ②毎月開催され、活発な意見交換をした。 ③適正な配置に努めている。 ④給食調理業務委託を開始した。 ⑤地元の学校を中心に受入れを行った。 ⑥奨学金貸与中 5名 ⑦病院祭を10月15日開催した。 ⑧8月～9月にかけて実施した。 ⑨退院時に実施している。 ⑩目標通り実施できている。 	概ね目標通りに実施されている。
3. 再編・ネットワーク化	(1) 再編についての検討	現段階では再編を行う状況に無いと結論	-	※評価対象外
	(2) ネットワーク化についての検討	<ul style="list-style-type: none"> ①しまね医療情報ネットワーク等医療ICTを活用しながら今後の連携・ネットワークの構築に努める ②近隣病院との情報共有・連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ①しまね医療情報ネットワークへの接続を継続。 ②全自病巣支部各部門会議等による情報共有を行った。また、県内医療機関との連携強化を進めている。 	概ね計画通りに実施されている。
4. 経営形態の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ①病床数削減 ②介護療養型病床の廃止（H29年度末） <p>経営については当面現在の経営形態を続行する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①H29年4月より病床数を158床から140床に削減することを決定した。 ②H29年度末で廃止することを検討している。 	※次年度以降の評価対象	

4. 収支計画の実施状況

(1) 収支計画（収益的収支）

（単位：千円）

区分	年度	平成27年度 実績 (参考)	平成28年度		差 ②-①
			目標 ①	実績 ②	
収 入	1. 医 業 収 益 a	1,580,507	1,608,092	1,562,258	△ 45,834
	(1) 料 金 収 入	1,370,734	1,399,155	1,354,510	△ 44,645
	(2) そ の 他	209,773	208,937	207,748	△ 1,189
	うち 他 会 計 負 担 金	79,247	78,569	78,569	0
	2. 医 業 外 収 益	449,064	428,054	428,881	827
	(1) 他 会 計 負 担 金 ・ 補 助 金	409,835	390,612	390,612	0
	(2) 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	31,788	30,254	31,487	1,233
	(4) そ の 他	7,441	7,188	6,782	△ 406
	経 常 収 益 (A)	2,029,571	2,036,146	1,991,139	△ 45,007
支 出	1. 医 業 費 用 b	1,870,378	1,853,225	1,827,685	△ 25,540
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,221,649	1,184,832	1,157,647	△ 27,185
	(2) 材 料 費	235,469	230,922	222,365	△ 8,557
	(3) 経 費	224,690	241,156	253,641	12,485
	(4) 減 価 償 却 費	180,773	187,310	187,311	1
	(5) そ の 他	7,797	9,005	6,721	△ 2,284
	2. 医 業 外 費 用	105,485	101,875	102,660	785
	(1) 支 払 利 息	62,964	58,657	58,675	18
	(2) そ の 他	42,521	43,218	43,985	767
	経 常 費 用 (B)	1,975,863	1,955,100	1,930,345	△ 24,755
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	53,708	81,046	60,794	△ 20,252	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	53,708	81,046	60,794	△ 20,252	
累 積 欠 損 金 (G)	1,684,536	1,603,490	1,623,742	20,252	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	410,906	429,408	343,639	△ 85,769
	流 動 負 債 (イ)	409,799	424,800	421,952	△ 2,848
	うち 一 時 借 入 金	0	0	0	0
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)	0	0	0	0
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (エ)	0	0	0	0
	差 引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	△ 1,107	△ 4,608	78,313	82,921
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.7	104.1	103.1	△ 1.0	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	△ 0.1	△ 0.3	5.0	5.3	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	84.5	86.8	85.5	△ 1.3	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	77.3	73.7	74.1	0.4	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 15 条 第 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)	△ 1,107	△ 4,608	78,313	82,921	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	△ 0.1	△ 0.3	5.0	5.3	
病 床 利 用 率	74.3%	74.1%	69.6%	-4.5%	

(2) 収支計画(資本的収支)

区分	年度	平成27年度 実績 (参考)	平成28年度		差 ②-①
			目標 ①	実績 ②	
収 入	1. 企業債	84,600	83,200	77,200	△ 6,000
	2. 他会計出資金	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	0	0	0	0
	4. 他会計借入金	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	5,479	5,486	5,432	△ 54
	7. その他	0	0	0	0
	収入計 (a)	90,079	88,686	82,632	△ 6,054
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0		0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	90,079	88,686	82,632	△ 6,054	
支 出	1. 建設改良費	91,352	83,223	83,070	△ 153
	2. 企業債償還金	273,332	288,051	288,051	0
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0
	支出計 (B)	364,684	371,274	371,121	△ 153
差引不足額 (B)-(A) (C)	274,605	282,588	288,489	5,901	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	274,605	282,588	288,489	5,901
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0
	計 (D)	274,605	282,588	288,489	5,901
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。
⇒注釈を適用し、単位を「千円」とした。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	平成27年度 実績 (参考)	平成28年度		差 ②-①
		目標 ①	実績 ②	
収益的収支	(34,058) 489,082	(16,594) 469,181	(16,594) 469,181	(0) 0
資本的収支	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
合計	(34,058) 489,082	(16,594) 469,181	(16,594) 469,181	(0) 0

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。
⇒医師確保対策に対する繰出で性質的には基準内であるが、過疎ソフト充充分につき区分するため基準外としている。